

授業改善プラン・各学年の取り組み例

<p>1 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音読カードの利用 ・小グループによる音読会の実施 ・板書や教科書の書き写し ・読点の意識化 ・ミニ作文の継続 ・朝の会の活動の継続 ・話す単元の充実・話すルールの確立 <p>発：関連した内容の読書</p> <p>補：短文作り</p> <p>補：小テストを定期的実施し、定着をはかる。</p>
<p>2 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字を使った熟語や文作りをさせる。 ・量を求めず、より課題を絞って書かせる。少人数国語により、効率的に作文の評価ができるようにする。 <p>補：学習した漢字を使った文や熟語を書き写させる。</p> <p>発：漢字では、学習した漢字を使った文や熟語を作らせる。</p> <p>補：表記も含めて書き方の指導を丁寧に行う。</p>
<p>3 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話す・読む・書く機会を増やす。また、それを評価し、互いに学び合う場を設ける。 ・朝読書・音読学習の継続による語彙の取得の拡大 ・視写・直写による正確な文字表記の訓練。 <p>補：他教科・領域・学級生活の中でも聞く・話す・書く・読む力を日常的につける。</p> <p>補：作文ノートや漢字小テストなどで、繰り返し練習する機会を継続してもつ。</p> <p>補：発表の仕方を掲示し、発表の仕方がわかるようにしていく</p>
<p>4 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・短作文作りなどで書く力を養う。 ・児童が自分で考えて書く時間の確保をし、書くことに対する抵抗を減らしていく。 ・問題をよく読み、内容を理解して、適した答え方ができるようにする。 <p>補：たくさんの文章に出会う機会を設ける。</p> <p>発：物語の続き話を作ったり、物語を絵本や紙芝居にしたりする。</p>
<p>5 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国語に限らず、他の教科においても文章の中の言葉の意味を確かめるよう繰り返し指導する。 ・質問の仕方については日常の中での指導を繰り返し行う。 <p>発：言葉や漢字の使い方を調べ、使いこなすような場の設定。</p> <p>発：図書を紹介。</p>
<p>6 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に文章の構成の仕方、書き方等を指導していく。 ・相手に伝わるように話す指導は継続する。 ・考えて聞くことへの日々の指導 <p>補：自分の書いた物を読み直す習慣をつけさせる。</p> <p>発：相手に分かるように説明させる場を多く設定する。相手が言ったことの要点を発表させる。</p>